

5. 人口減少・少子化対策について

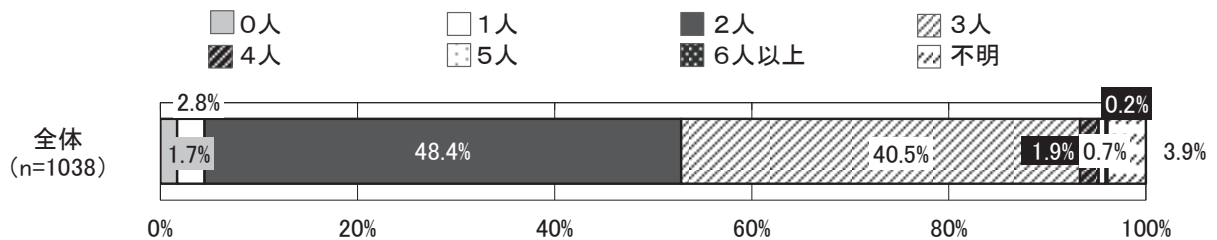
(資料 P. 127)

問 22 理想の子どもの人数

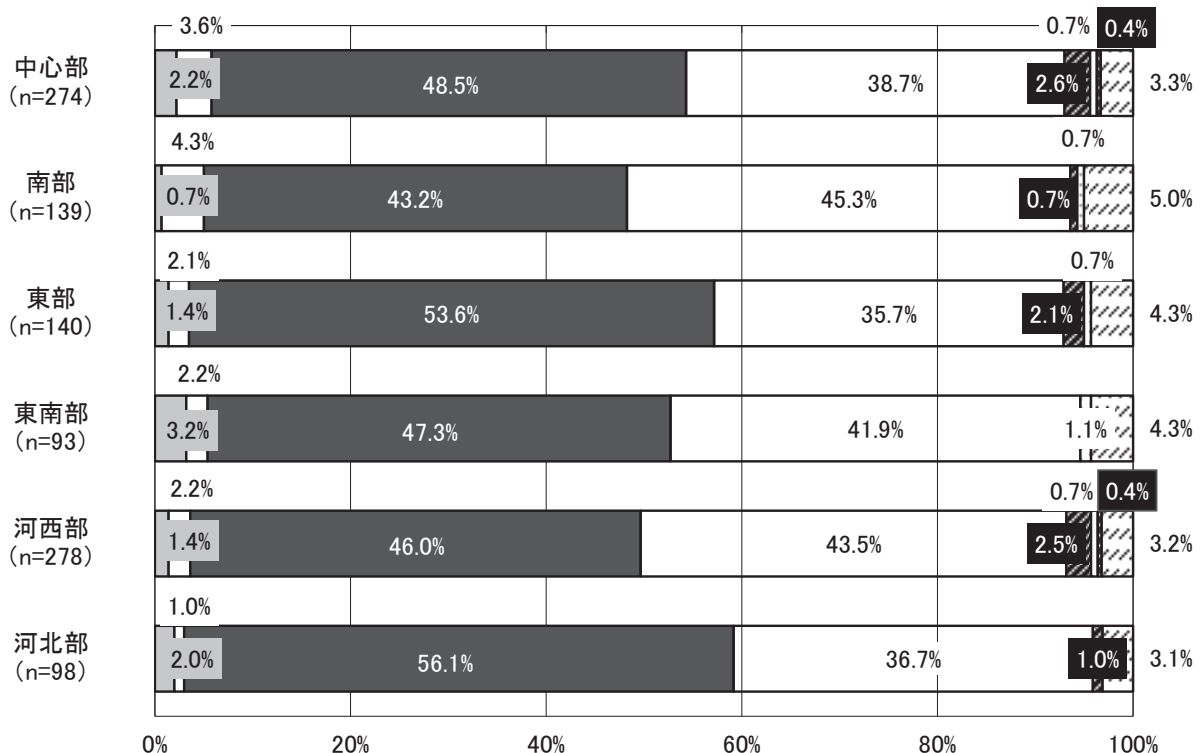
問 22 あなたの理想の子どもの人数は何人ですか？または、何人と考えていましたか？
(実際の出産予定や人数ではなく“理想の”合計人数をお選びください。)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 3. 2人 | 5. 4人 | 7. 6人以上 |
| 2. 1人 | 4. 3人 | 6. 5人 | |

理想の子どもの人数は「2人」が48.4%と最も多く、次いで「3人」(40.5%)となっている。
年代別にみると、「2人」が59歳以下で半数を超えている。

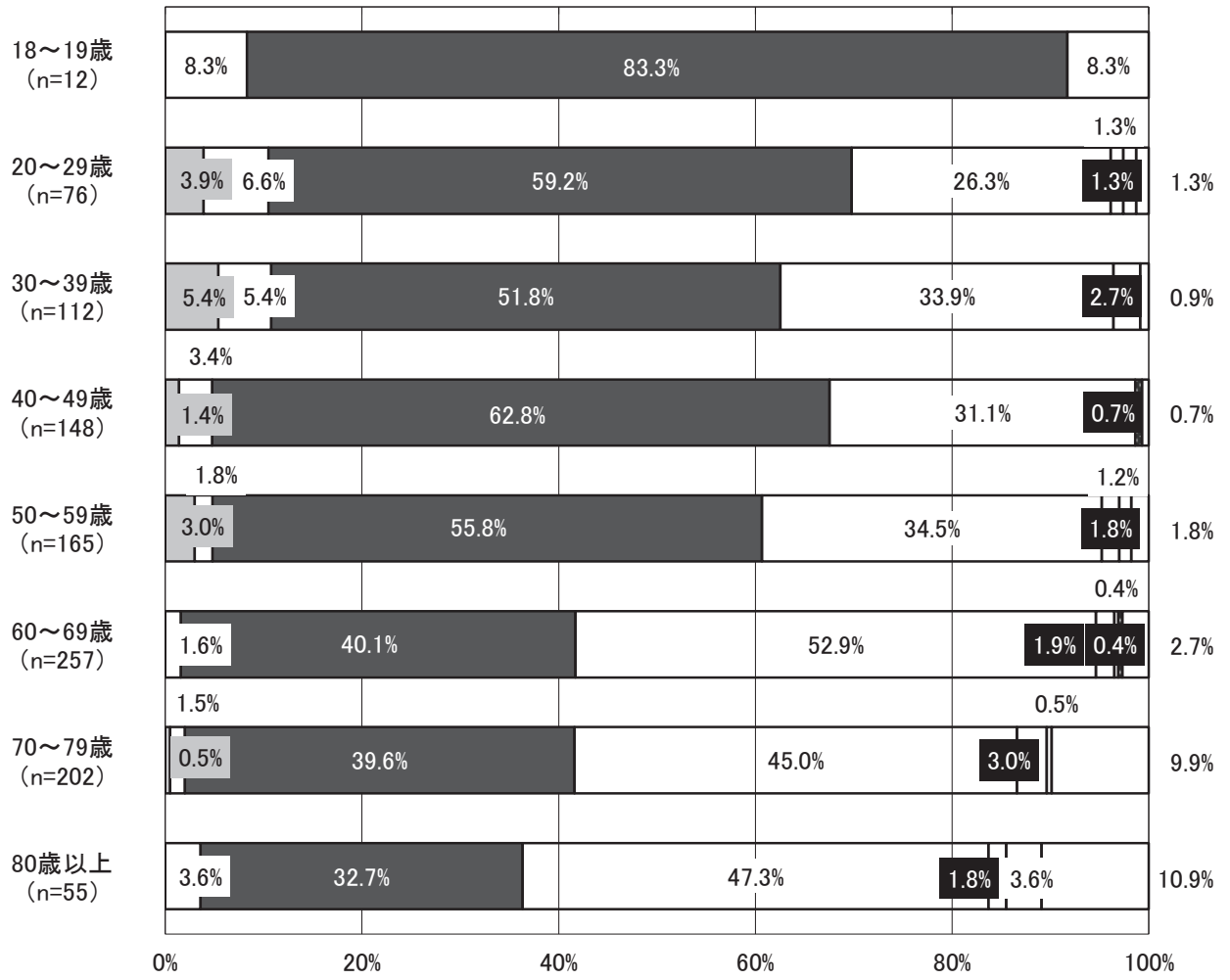


<地域別>





<年代別>



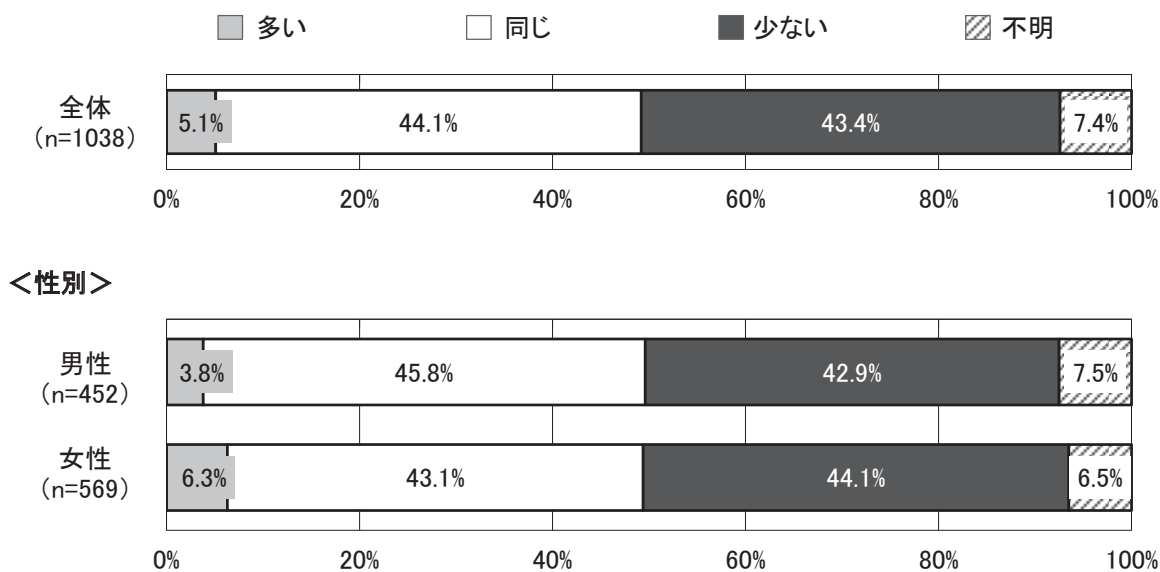
問 23 理想に対する現状の認識

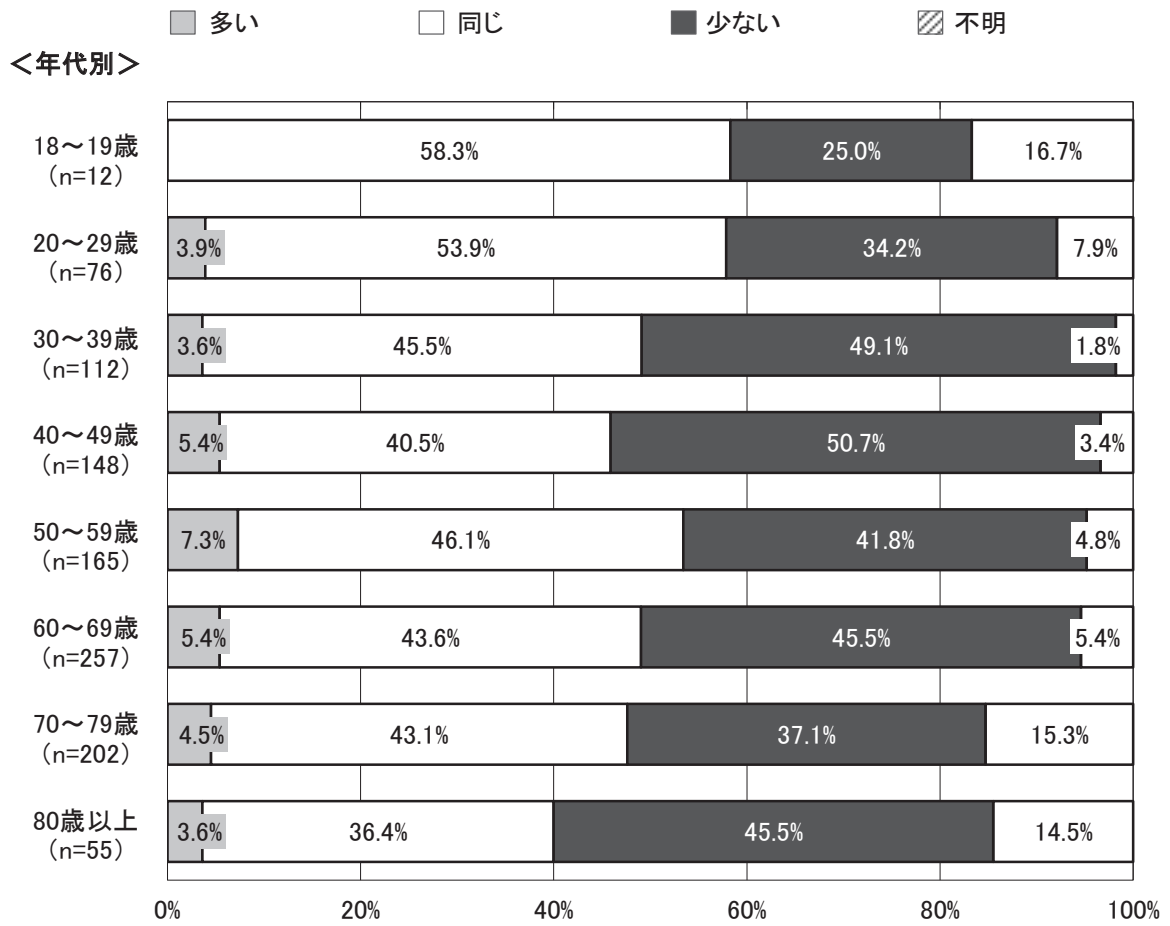
問 23 現実にいらっしゃる子どもの人数、または、持とうと予定されている子どもの人数は理想の人数と比べていかがですか？あてはまるものをお選びください。

1. 多い 2. 同じ 3. 少ない

理想の子どもの人数に対する現実の子どもの人数は、「同じ」(44.1%)と「少ない」(43.4%)がほぼ同率となっている。「多い」は5.1%となっている。

年代別にみると、20～29歳で「同じ」(53.9%)、30～39歳で「少ない」(49.1%)、40～49歳で「少ない」(50.7%)が多数を占めている。





問 24 理想の子ども的人数を持つことへのためらい

問 24 理想の人数の子どもを持つことにためらいを感じますか？または、ためらいを感じたことがありましたか。

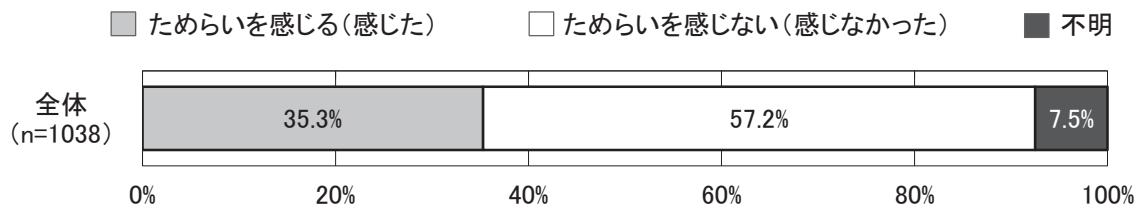
1. ためらいを感じる（感じた）

2. ためらいを感じない（感じなかった）

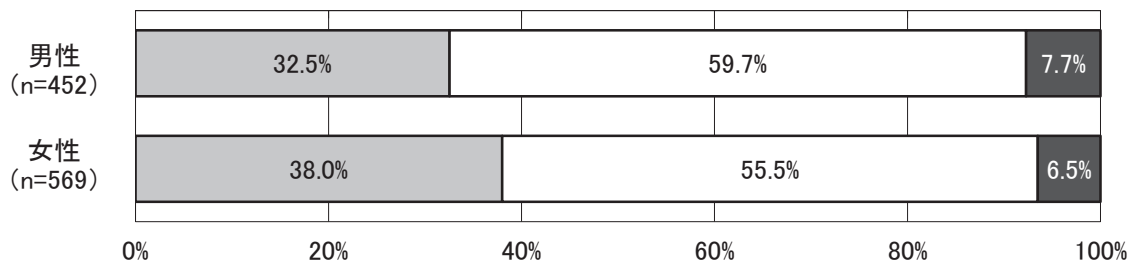
理想の人数の子どもを持つことについて、「ためらいを感じる（感じた）」が 35.3%、「ためらいを感じない（感じなかった）」が 57.2%となっている。

性別にみると、「ためらいを感じる（感じた）」が男性（32.5%）より女性（38.0%）が 5.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、30～39 歳で「ためらいを感じる（感じた）」が最も高く、54.5%と半数を超えている。

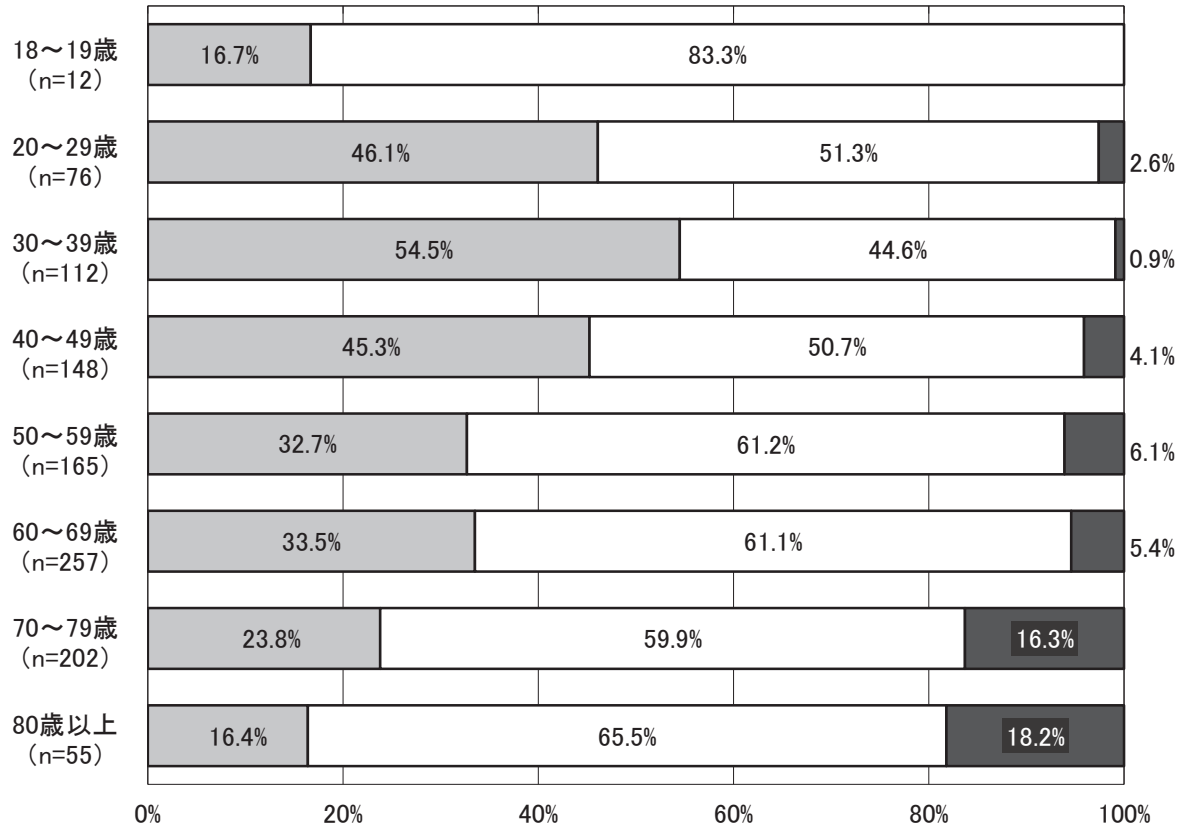


<性別>



■ ためらいを感じる(感じた) □ ためらいを感じない(感じなかった) ■ 不明

<年代別>



問 25 少子化対策に必要な取り組み

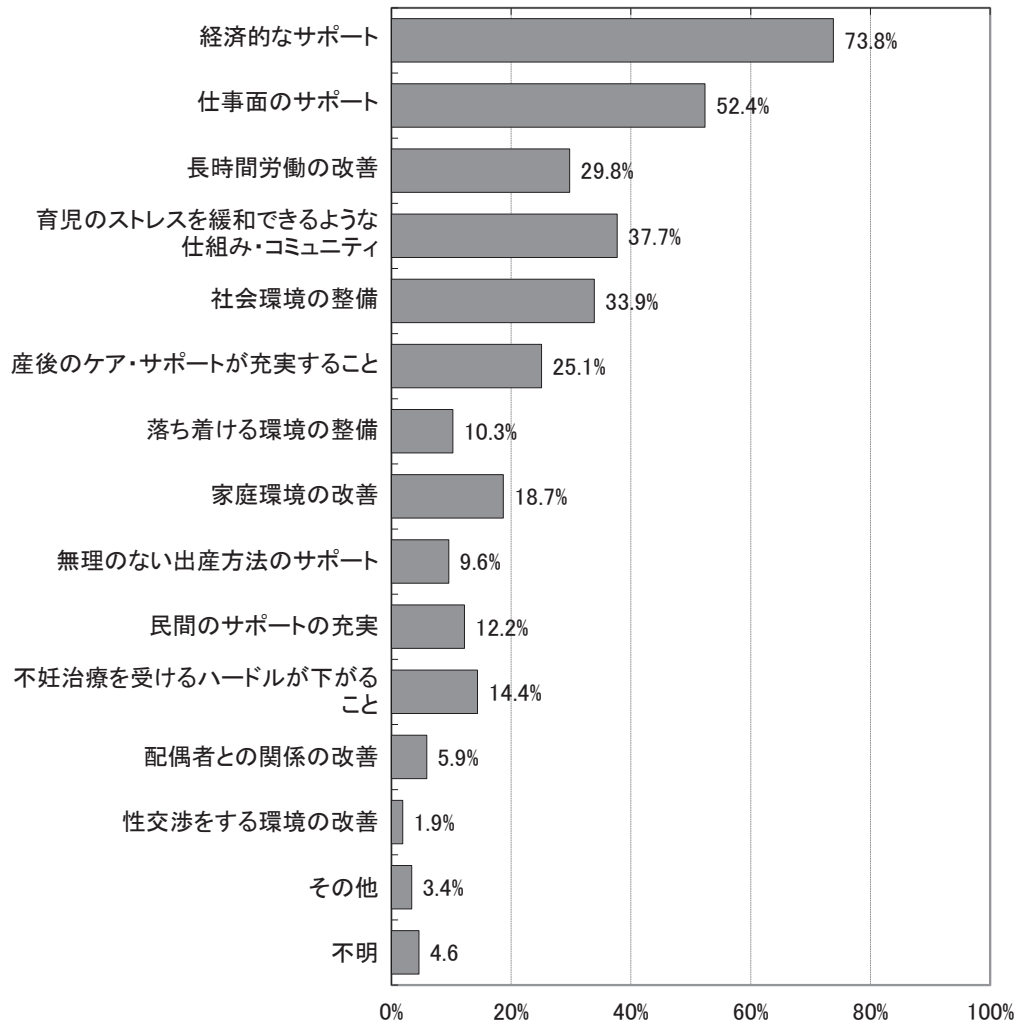
問 25 少子化対策として、どのような取り組みが必要と考えますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 経済的なサポート | 8. 家庭環境の改善 |
| 2. 仕事面のサポート | 9. 無理のない出産方法のサポート |
| 3. 長時間労働の改善 | 10. 民間のサポートの充実 |
| 4. 育児のストレスを緩和できるような
仕組み・コミュニティ | 11. 不妊治療を受けるハードルが下がること |
| 5. 社会環境の整備 | 12. 配偶者との関係の改善 |
| 6. 産後のケア・サポートが充実すること | 13. 性交渉をする環境の改善 |
| 7. 落ち着ける環境の整備 | 14. その他 () |

少子化対策として望む取り組みは、「経済的なサポート」が 73.8%と最も多く、次いで「仕事面のサポート」(52.4%)となっている。他の項目で 20%を超えるのは、「育児のストレスを緩和できるような仕組み・コミュニティ」(37.7%)、「社会環境の整備」(33.9%)、「長時間労働の改善」(29.8%)、「産後のケア・サポートが充実すること」(25.1%)の 4 項目となっている。

n=1038



その他：「長時間保育、学童保育の充実」、「託児施設の充実」、「積極的な婚活支援や保育支援を実施する」、「景気回復」、「人口流出させない」、「和歌山の活性化」など